

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

二戸市長 小 原 豊 明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった標記について別紙により回答いたします。

宜しくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岩手県二戸市

- 高規格道路及び幹線道路の整備も必要であるが、暮らしに密着した生活道路の狭隘区間、部分拡幅、歩道等の整備など身近な課題を優先すべきである
- 老朽化及び劣化が進む橋梁等既存施設の長寿命化を図るべき。また、適切な維持管理を推進するための財源確保をするべきである
- 市街地の道路整備については高齢者及び交通弱者が安全で安心して利用できる歩行空間を確保し利用者へ配慮したバリアフリー化及びカラー舗装等の整備が必要である
- 真に必要な道路を確実に整備する財源を確保するとともに、地方の道路整備にとって必要不可欠である「地方道路整備臨時交付金」制度の継続・改善を要望する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

岩手県二戸市

○現状

二戸市のその他市道の改良率は３８％と低く、特に市街地は未改良で狭隘な道路が多く救急車両及び地域住民の安全な運行、通行の確保が急務となっている。また、道路構造物等の経年劣化が進行し早急な維持、補修が必要な状態である。

市街地の道路整備については住宅が密集しており道路の拡幅が難しい状態であるため現況幅員を基本とし待避所を設置した整備を進めている。また、道路側溝及び路面補修等の維持補修については交付金事業等を活用し適時の補修に努めると共に橋梁については橋梁診断を早期に実施し適切な修繕、補修を実施する等、その方策を推進するため創意工夫を重ねながら対応している。

○課題

歳入の大きな割合を示める地方交付税の減額等により、財政力のとぼしい当市にあつては、人件費等経常経費の削減努力に苦慮しながら対応しているが、補助制度の拡充は望むものの裏負担財源の捻出が最も大きな課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２ 地域の目指すべき将来像

岩手県二戸市

高規格、二車線道路に拘らず地区、地域に合った、日々の暮らしに密着した生活道路の整備及び維持補修に努め地域住民が安全で安心に生活できる道づくりを目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岩手県二戸市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
暮らしに密着した生活道路及び道路施設の整備	国道4号に架かる青岩大橋への歩道設置 国道4号市街地区間の歩道整備 国道4号沿いの有休地の有効利用	地域住民はもとより、サイクリング旅行者等の安全通行が確保できる 地域住民及び交通弱者の安全通行が確保できる 4車線化を見越し先行取得してある土地を有効に活用し歩行空間及び花壇等を整備することにより都市景観が向上し、また冬季間は堆雪帯としても利用できる	